

菊盛英夫 きくもろ ドイツ文學者。明治四十一年一月十四日高山縣生れ

(一九〇九)。昭和八年東京帝國大學文學部獨文科卒。中央大學教授。

譯著書、ベルト・ブレヒト作『三文オペラ』上巻』(譯、昭和十六年

三月二十日日光書院)、『われらの映画』(昭和二十四年十月十五日

くれは書店)、『ブレヒト篇—三文オペラ』(譯、昭和二十七年十一

月二十五日河出書房「現代ドイツ文學全集」)、ロズルト・ユンク著

『未來は既に始まつた』(譯、昭和二十九年五月十日文藝春秋新社)、

ヴァルジンスキー著『死者の國へ』(譯、昭和三十年十一月二十日新

潮社)、トーマス・マン作『エジプトのヨゼフ』ヨゼフとその兄弟た

ちう』全二冊(訳、上・昭和二十三年十月二十日、下・十一月二十日

新潮社)、『斜視的ドイツ論』(昭和二十七年一月十日中央大學出版

局)、『ドイツ文學』(合著・手塚富雄編、昭和二十七年十一月二十

日毎日新聞社「毎日ライブラリー」、『ロズルト・ブレヒト—ある革

命的芸術家の生涯』(昭和四十年五月五日白水社)、コルターとドイ

ツ精神史—そのヤーヌスの顔とわぐ

つて』(昭和五十一年二月二十一日

岩波書店「岩波新書」、『文學カ

ラエーブルシヨワ文化の社交場』(昭

和五十五年十一月二十日中央公論

社「中公新書」、W・ハース著

『ロズル・エポック』(訳、昭和六十

年二月二十日岩波書店)、『知られざるパリー—歴史の舞臺を歩く』

(昭和六十年十一月二十九日岩波書店)等。

